

第10回 奈井江町まちづくり町民委員会 議事録 (要旨)

【日 時】 平成29年12月5日(火) 午後6時00分～午後7時50分

【場 所】 役場 3階 大会議室

【出席者】 委員～12名(欠席3名) 町～9名

委員	太田裕治	○	中村尚子	×	山口俊哉	○	伊崎裕介	○	橋本ミエ	○
	萬 由美子	○	長屋高史	○	大澤耕一	○	梅本てる子	○	田尻 弘	○
	三原 新	○	鈴木 雅幸	×	佐藤 唯	○	田口友子	×	福塚智美	○
町	北町長、相澤副町長、馬場課長、田中係長、 事務局：碓井参事、谷口係長、菊地主査、吉田主事、佐々木主事									

1 開会 (碓井参事)

夜分お疲れのところお集まりいただきまして大変ありがとうございます。

本日、3名の欠席とご連絡をいただきました。只今から町民委員会を進めてまいりたいと思います。

それでは、まず委員長よりご挨拶をいただいて議事進行をよろしく願います。

2. 委嘱書交付

3. 委員長あいさつ

こんばんは。

あっという間に師走ということで、私たち年取ると矢のように1年が早いという印象があるんですが、若い人もいますが、大抵の人はもう1年という感じかと思います。

いつ初雪が根雪になるのかと思ってたら、あっという間に雪も積り、今年もあとわずか、健康で過ごしていければと思っております。

1年を振り返ると、今年はあまり大きな災害もなく、最近12月1日に待望の奈井江温泉が出来まして、期待に応えたオープンになったのではないかと思います。

これも、ひとえに役場のみなさんが一生懸命対応して、再開にこぎつけたご努力は町民として敬意を表したいし感謝申し上げる次第でございます。

私たち、そういった形でまた新たな部分という形で温泉ができ、また奈井江のお米も非常に良い出来だということも聞いております。

奈井江がそういった意味で新たな新しい年を迎えられるのかなと感じております。

今日は平成30年度の予算編成でございます。天皇陛下が在位なさって平成も30年でたぶん終わりだといいますが、そういった意味でも意義ある予算編成がなされることもあると思います。ぜひ、忌憚のない意見・議論をしていきましょう。

よろしく願います。

4. 町長 あいさつ (資料1 町政運営等に関する主な動向を兼ねて)

皆さん、お晩でございます。

日頃より町政の推進にご協力をいただきましてありがとうございます。

本日は、年末のお忙しい中、また、お仕事でお疲れのところお集まりをいただき、重ねてお礼を申し上げます。

早速ですが、最近の町政運営の主な点について、申し上げます。

はじめに、ないえ温泉についてですが、昨年9月末より閉鎖となり、町民の皆さまには、ご不便・ご迷惑をお掛けいたしました。

再開にむけ、ボイラーなど機械設備の購入や内装の一部改修を行うなど準備を進めておりましたが、このたび、「伊達観光・新篠津開発共同企業体」と指定管理契約を結び、12月1日に無事リニューアル・オープンいたしました。

当日は、この日を楽しみにしていた方々や、新聞折込・テレビCMなどで広く周知していただいたこともあり、多くの方に入館いただきました。

この温泉施設の再開により、まち全体が振興、発展していくことを確信しております。

今後も町民の憩いの場として、更には、まちの代表的な観光施設として、地域に愛され、町内外の多くの皆様に、ご利用頂けるよう、指定管理者をはじめ、関係機関とも連携を図りながら、サービスの充実に努めて参りたいと考えております。

次に、本年の水稻の状況についてですが、10月15日現在の作況指数では、全国で100、北海道103、北空知は103と発表されています。

今年は、くず米も少なく、品質が非常に良く、特筆すべきは、低タンパク米の出荷についてはJ A基準のタンパク含有率 6.8%以下の割合が、昨年は、45%でありましたが、今年はJ A発足以来、初めて80%を超えるという驚異的な数値になっております。

「新すながわ農協のお米はどれを食べてもおいしい」という、証であります。

量だけではなく、質の改善に取り組んできた農家の苦勞が 結果に結びついたものであり、奈井江町としても最高の喜びであります。

そして、昨年10月から、みなクルにおいて、地域おこし協力隊として活躍を頂いた、「沼澤奈緒子」さんが、11月15日を持って退任されましたが、この12月1日からは、川崎市出身の「竹田梓」さんが、新たに着任することになりました。

私も面談を致しましたが、明るく、地域づくりに意欲を持たれている方であります。

引き続き、みなクルのコミュニティ・カフェを拠点に、カフェの運営や情報発信など地域おこしの活動をしますので、皆さんもぜひ、交流を図っていただきたいと思います。

さて、本日の議題であります平成30年度の予算についてですが、現在各担当で作成中であり、これから編成に入っていきますが、奈井江町の財政状況は、人口減少、少子高齢化の進展により、社会保障関係経費をはじめとする扶助費の増加、診療報酬改定等による企業会計の経営環境の悪化などが財政を圧迫し、基金を取り崩す結果となっております。今後も年々基金の減少が見込まれます。

歳入については、町税や使用料などの自主財源の割合が30%前後、地方交付税や国庫支出金などの依存財源の割合が70%前後を占めており、地方交付税に大きく依存する形となっております。

30年度においても、地方交付税の配分が減少する見通しとなっており、町財政への影響が懸念されます。

歳出においては、健全化判断比率は警戒ラインを大幅に下回っているが、老朽化が進む公共施設の維持改修に必要な財源確保が財政運営の大きな課題となっております。

30年度も引き続き、「第6期まちづくり計画」及び「まち、ひと、しごと創生総合戦略」を基本とし、十分検証をしながら進めて参ります。

新規事業についてですが、まちでは、これからの高齢社会に対し、いつまでも安心して暮らすことができるまちづくりを推進するため、保健・医療・福祉・介護の一体的「地域包括ケアのトータル・サポート・システム」を構築するため、本年4月、やすらぎの家、健寿苑の運営を日本介護事業団へ移管いたしました。

移管後、半年が過ぎ、更なる介護サービス体制の基盤づくりを行うと共に高齢者及び障がい者を含めた社会参加、生きがいづくりの新たな拠点として、旧江南小学校の活用プランが同事業団より示されました。

内容としましては、通所、泊りに対応できる介護サービス「小規模多機能型居宅介護サービス」の開設や、障がいのある人の自立と社会参加を促進するための訓練施設「就労継続支援A型事業所」の開設。

障がい者が安心して生活できる居住の場としてグループホームの検討などとなっております。

町では、このプランの内容が、まちが目指す健康と福祉のまちづくりにふさわしい取り組みであると考えております。

このことについては、この場で議論をするわけではございませんが、12月の議会定例会で諮問案を提出し、十分議論をしていただき、決定していただくこととなっておりますので、事前にみなさまへお話をさせていただきました。

この後、予算関係について担当より説明をさせますが、皆さんから、忌憚のないご意見を頂きたいと考えておりますので、本日もよろしく願いいたします。

(委員長)

ご質問などあればお願いします。

他になければ終了とさせていただきます、町長と副町長は退席となります。

(委員長)

それでは、議題に移りますが、まず30年度の予算編成について、くらしと財務課の馬場課長から、続けて企画広報係の谷口係長から説明をさせていただきますので、よろしくをお願いします。

5. 議題

(1) 平成30年度 予算編成について【資料2 馬場課長、谷口係長説明】

(委員長)

ありがとうございました。それでは、議論というか、意見交換になるかと思いますが、予算を見てどうなんだと言っても皆さんは何が何でどういう構成でこうなったというのが分からないことがあるかと思いますが、まず、私からの質問ですが、来年は今までの予算の編成とちょっと違うよと、今年との違いがあるというのは、何処かありますか？

(馬場課長)

財政推計的なものも、長期的視野に立って実施していかなければならないということで、先ほどお手元の資料の2~3ページで、それぞれの所管が担当事業をまちづくり計画推進管理票で管理をして、これの積み上げで推計していますが、これらについても、より事業評価に力を入れて本当に必要なものは事業を伸ばしていかないとにならないですが、効果が薄いものについては、今後廃止するとか、それに代わる事業を課を越えた連携で実施していくとか、そういった視点も必要になってくるということで、3ページに記載している所は、昨年度より重要視することになっています。

(委員)

4ページの公営住宅の所で、東団地は廃止の方向でやっていたんですけど、今残っているのは1棟ですよ。もちろん住民が居ますが、随時今までの所でなく、新しい方へ移動することですが、今年度は事業が無いということは、空きが無いということなのか？予算が無いということなのか？

(馬場課長)

この東団地については、基本的に更地にしていきたいという考え方で進めていますが、どうしても、以前から入居されている方が、他の地区に行く知り合いが居なくなるだとか、今住んでいる地域が好きだという事などのやり取りもあり、すぐ壊すから出ていけという事にはなりませんので、十分な説明とご理解をいただきながら順次進めていくという考え方でやっていますので、お金が無いから壊さないのではなく、ご理解願います。

(委員長)

予算で全体の予算と個別の部分で質問がしづらい部分があるかと思うんですが、まず、整理させていただき、今、1ページ目で皆さんが数字で読み取れる部分について、何か質問があれば承ります。

(委員)

一番下の所の基金というのがあまり解らないのですが、貯金と考えていいのでしょうか？

(馬場課長)

簡単に言えばそのとおりです。

(委員)

自分の家の貯金通帳がこの減り方をしたら、ちょっとドキッとするように思えるのですが。

(碓井参事)

例えば、平成13年当時の自律プランを立てた時から同じように推計を出していますが、歳入は手堅く見ておかなければならない部分と、歳出はある程度の積算を、例えば除雪費はいつもどおり組んでも、結果として昨年みたいに雪が少なければ数千万単位で余るだとか、そういったこともありますし、ある程度、歳入も歳出もそれなりに固く見ておくことが一般的であります。決算を終える時は、そこが少しずつ余裕が出てくるというのが毎年の状況であります。ただ、色々な予算組み、計画を立てる時には厳しい見方をしないと中々行かないということでこういった数字になっています。いずれにしても、相当厳しいことには変わりはないのと、先ほど委員長からありましたが、来年何かあるかと言ったとき、今危惧されているのが、歳入の地方交付税が推計では2%減で見えています。新聞紙上であるとおり、財務省と総務省でやりあっており、財務省からすると、市町村は、国が赤字の状態なのに、市町村は基金も積み立てているのではないかと、そこを吐き出すくらいの勢いで交付税を減らしたいような考え方を持っており、そういった攻防が年明けまでの地方財政計画で出てくるんですが、それが、どういった決着を見るのかというのが、非常に我々としても心配の種です。そういったことも含めて、固く見ているという事にご理解をいただきたいと思います。

(委員)

例えば、固く組んでも、今見たく11月から雪が降り、トータルしたらどっと来たら逆に不足になるよね。

(碓井参事)

除雪の経費なんかも、極端に増えた時には、災害として特別交付税としていくらかの補てんをしてくれることもあります。財政から見ると、雪は少ない方がいいんですが、関連する事業者もいます。いろいろなことが考えられます。

(委員)

役場が古いので建て替えようとか、中学校が雨漏りするから建て替えようとか、簡単に無責任に言うのですが、これを見ると言えないですよ。町民はどれくらい知っているのでしょうか。みなさんも知ってましたか。

(碓井参事)

議会には当然出していますし、2年に1度の町政懇談会ではこれと同じ内容を説明させていただいております。是非、こういった委員会の皆さんにも少しずつ解りやすく説明できたらと思います。

(委員長)

貯金が減っているのもそうですが、公債費というのは、借金を返しているお金ですよ。公債費比率が高いか低いかはその町の指標になります。奈井江町は良い方ですか？

(碓井参事)

公債費が歳出の上から3段目にありまして、6億～7億という、若干減り気味にありますが、これを返すのは、全額返すのではなく、返す時に地方交付税に、例えば過疎債というのを借りると7割を補てんしてくれ、実持ち出しは3割だとか、そういう借金を極力してやっています。ですから、比率を出すときには非常に借金に関しては健全な比率です。借金が多いから町が苦しいというのではなく、色々と医療費だとかが増えていくというのも現状ですし、地方交付税が安定しないというのがあると思います。

夕張の破たんは、公債費が身の丈を越えたことが結びついたのですが、そういった流れの中での財政の厳しさの原因がそこにある訳ではありません。ただ、無ければ無い方が良いのですが、無ければ町の事業を何もしていないという事にもなりますし、そこは、バランスを考えて事業に取り組んでいくことが町の姿勢だと思います。

例えば、29年度のハード事業が前年の2億から9億となっていますが、これはライスターミナルに6億ほどのお金が掛かったため多くなっていますが、これは過疎債を借りて7割が交付税ですし、残りの3割は町の負担ではなく、農業者が農協を通じて使用料として負担しているという事なので、事業費は大きいですが、町の負担は全くないのです。極力負担を掛けずに町の産業振興を進めていくという事になっています。

(委員長)

それにしても、私たち町民からしたら、将来大丈夫かな？というのが否めないかと思います。町税も6億、国から地方交付税を貰って町の財政が運営されているということを、きちんと、皆さんに理解していただくことが必要。それでも、奈井江町の財政力指数は20何パーセントで良い方でしたよね？中空知では。

(田中係長)

H28 決算で0.258 です。

(碓井参事)

まさしく、住電さんだとかの法人税などが近隣の農村地区と比べればかなり良い状況にあります。

(委員長)

次に、皆さんが話しやすいのは、4ページ～5ページかと思います。これを皆さんで、個別の予算事業だと思いますので、何かご意見を承りたいのですが、順番に当てていきたいと思っています。

(委員)

お金が無い中で、なかなか言えないのですが、奈井江商業高校への支援事業で、1,700万円とありますが、最初に施策を取り入れた時には、インパクトもあり、定員に対して多く集まりましたが、他の学校も頑張るのか、今回定員割れをしましたよね。このままでは40人が30人、25人と減っていくのではないかと思います。お金かどうかは解らないが、目玉になるものがあるのではないのでしょうか。何か考えて行かないと、学校が無くなる方向に向かうのではと思いました。

やはり、特色ある学校ではないのでしょうか。成功した学校もありますように、インパクトがなければいけないのですが。漠然としています。

(碓井参事)

まさしく、このようなご意見をいただきながら今年の予算編成もテーマにしながら進めていきたいと思えます。

(委員)

高校を今年公開で見に行ってきました。すごく空き教室、机が多く感じました。あそこに中学校を移して、中学校と高校が一緒の建物を使ってはどうかなと思いました。中学校の建物も大変なので全部移して、奈中生が奈商に上がる。それで解決するのでは。ちょっと現実的ではないですが。

(委員長)

回答はありませんし、そういった自由な意見を言ってもらうのがこの会議ですので。それでは次の方お願いします。

(委員)

インフルエンザワクチン、奈井江町は足りているのですか？砂川とかは全然ないと聞くので。

(碓井参事)

町立病院は、先日予定量を終了しました。個人の病院がどの程度残っているかは解りませんが。

(委員)

インフルエンザのワクチンの値段は各町で違うんですが、今回は岩見沢が一番安く、2,700円で、滝川は3,700円でした。これはどういった基準で決まるのですか？

(馬場課長)

薬価契約が、その病院で違うことが影響してくると思います。

(委員)

第3子から給食費・保育料・学童保育が無料となっているが、3人目だけ無料になるのですか？

(碓井参事)

今年開かれる議会の中でもいろいろ議論がありまして、30年度に向けて拡大をしようという方向で協議がなされると思います。第2子給食費についてのみですが。

(馬場課長)

第3子のみです。保育料は、国で3歳から5歳については無料化にしたいという議論がされていますが、いかんせん財源がありますから方向性がどうなるかが盛んに話題になっています。

大きな括りでいえば、どこの自治体でも、こういった子育て支援を、国が責任を持つタイミングに来ているのではないかというのが、国に対して要請している最中です。

(碓井参事)

大きなくりの話題としては、どこの自治体も子育て支援について、むしろ国が責任を持つタイミングに来ているのではないかということ国に要請をしているところです。まだ、具体的には出てきてないですが。

(委員)

まちづくり計画の7ページ、除雪の話ですが、南町6区で、昨年も聞いたのですが、今年も、道路を除雪してくれるのはいいのですが、幅を2/3だけはねて、1/3はねていない部分があり、そこを個人がはねなければいけないということがあり、そこを対処して頂きたい。

(馬場課長)

道路幅にもよりますが、除雪する部分の道路わきに赤と白のポールが立っていますよね。基本的には、そこまでは、はねることになっているのですが。

道路の幅のポールを目安に除雪車が入っていくのが通例ですが、いずれにしても担当に伝えていきたいと思います。

(委員)

先ほどの、奈井江商業に中学校を持って行けばという意見と似ていますが、役場庁舎が老朽化しているんで、それを持っていくことは出来ないのでしょうか？耐震関係も高校はなっているし、改築すれば長く使えると思うし。ただ、場所が南町で町の中心ではないという問題もありますが。お金がないなら、もったいないから利用したらいいのではという話をどこかで聞いたことがあるんですが。ここがしばらく使用できるならよいが、場合によってはひとつの方法ではないか。

(確井参事)

ご意見としてお聞きしますが、今の建てる場合のシステムというのが、従来は、病院やみなクルなど、住民のための施設の場合は、国からの支援があります。ただ、役場庁舎は一切ありませんでした。ただし、熊本の地震の例もあり、国が平成31年度を期限として、3割弱、2割なにかしの支援を借金をさせて借金返済の時に支援をするというルールがあり、この近辺で急いでやろうとしている所は、その辺の資金を使おうとしています。岩見沢や砂川です。

その他の市町村は、空知管内一緒に要請活動を行っていますが、31年までの時限的な部分をさらに拡充し、延長してほしいという要請をしています。

過疎地域であるとか、不採算の病院を抱えている等、町々によって色々な事情を抱えていますので、国として色々な支援を考えて欲しいと要請していることも知っておいて欲しいと思います。

(委員)

あと、もう1点、連合会館の整備等の補助で、4つの連合区が載っていますが、この4つに毎年96万を払っているのですか？ どういった内容なのでしょう。

(確井参事)

各連合会館の屋根の塗装をするだとか、そういった時に、1/2を町として助成しますというルールがあって、たまたま、29年度はこの4地区から申請があって96万を出すという事になっています。このあいだ、連合区長会議がありました。また、来年度予算に向けて要望がある場合は、要望を出すように取りまとめを行っています。

1カ所限度額は50万円としております。

(委員)

大和会館も老朽化していますが、申請すれば認められるのですか？

(確井参事)

主旨にあえば当然、ルールに合えばできることになります。

連合区長さんは理解していると思いますので。

(委員)

子育て支援やサ高住も出ていますが、子育て支援を利用して子どもの人数は増えていますか？

(確井参事)

明確には難しいですが、出生数で言えば、今年は少ないです。ただ、定住対策で、社会増減で見ると、割と小さなお子さんが居る家庭が奈井江町に転入しています。その割合が比較的多いです。

(委員)

不妊治療を利用している人はどれだけ居るのでしょうか？

(谷口係長)

28年度利用された方は1件です。

(委員)

そういう助成をしていただくと、良いと思います。皆さん不妊治療について知られているのでしょうか？不妊治療を利用している人はどれだけ居るのでしょうか？

(碓井参事)

28年度から新たに町として取り組んだのですが、非常に重要な位置づけになります。件数は少ないのですが、国の制度があって、その上乘せという形で補助をしようという事になっています。

(委員)

北海道として助成してくれて、まず、そっちが先なんです。道に申請して助成金が下りると、道が認めましたという人の足りない部分を奈井江町が助成するという制度です。自己負担がほとんどなく、安心して治療を受けられると感じています。

たまたま、ホームページで見えて知っていますが、全員が知っているかという点、どうかと思います。体の心配はありますが、金銭的な心配はいらないんだよということですので、もっとアピールしても良いのでは。

定住支援と抱き合わせくらいの勢いでアピールしても良いのではというくらい重要だと思います。

(委員長)

この件は、強い要望としてPRをしっかりと欲しいと思います。

(委員)

2点ほど、1つめは、私は農業を手伝っていますが、ライスターミナルの件、先ほど、過疎資金などでやると言っていましたが、勘違いされてはこまるのが、来年から転作が無くなります。それによって米が増えるので、それに向けて準備しているのではと、勘違いされては困ります。ライスターミナルは、粳で保管して、粳を擦りながら消費者に廻しています。それで美味しいご飯を食べられるというようにやったのですが、今の施設では足りないために、途中で米にして、違う倉庫に積んでいます。それが実情です。砂川と奈井江の粳では全部入らないのです。それを保管するために、今、新たに建てています。転作をやめて、来年、米がどんどん増えるというのは、農協が管理して、米が増えると安くなりますので、制限して国から似たような補助をもらいます。ですから、転作は続きますから。今の麦などが全部に田んぼになるということではないということを理解していただきたいと思っております。

2つめは、高齢者対策です。今、老人クラブの会長代行となっています。少子高齢化で高齢者の数が増えています、老人クラブに入っている数はどんどん減っております。そのために、新規加入のために補助金をいただいておりますが、これは、後で町長にも言いますが、その鉈を振らないで欲しいという意見があったことを伝えてほしい。

(碓井参事)

ライスターミナルで、もう一つ私が聞いているのが、多様な美味しいお米を作っている中で、それを、きっちりと分けをするためにサイロを増やすという、消費者の要望に応えるために、農協も非常に努力しているという趣旨もあります。

(委員)

私、2年前にこちらで仕事をすると考えた時に、どこに住もうかと考えました。職場が美唄にあったのですが、奈井江、砂川と展開していくと考えた時に、家賃助成と子育て支援の子ども医療費助成、これがポイントとして奈井江に決めました。これをぜひ継続して行ってほしいです。現在2人子どもがお世話になっています。奈井江のアピールポイントとして、継続して欲しいと思っています。あと、美唄、奈井江、砂川と事業所を持っていますが、独身女性がまだまだおります。今月、婚活パーティーがありますが、うちの女性2名が参加させていただきますが、この頻度を増やしてほしいです。結婚して子供を作る生活をしていきたいという職員からの要望もあり、奈井江町に人口を増やすためにも、是非とも開催を増やしてほしいです。

(委員)

不妊治療に関しては、ホームページを見れば解りますが、どこに問い合わせるのか解りづらいと思います。保健センターにも、もし、入りにくい人が居たら、こういう人が話を聞きます等という顔写真があったり、メッセージがホームページに載っていたらもう少し入りやすさがあって良いのかなと思いました。

道にまず助成申請してもらってください、足りない分は町で助成します。だとかちょっとした部分は載せてもいいのかなと思います。フランクにわかりやすく、なんかすごく難しい問題だったり、人に聞きにくい問題って感じがまだまだあるので、もう少しオープンにしても良いのかなと思います。ホームページは見やすいですし、私もアパートを広いところに住みたくて見えています。見やすくなっていいなと思いますので、不妊治療についても、もっと見やすく入りやすくしては。

コミュニティカフェの事で気になったのですが、586万円となっていますが、何に使っているのでしょうか？協力隊の方の活動があまり知られていないように感じる。2人目の方が就任したと言っていました、1人目が居たんだと。活動状況をもっとアピールにしては。

(委員)

私はよく行ってコーヒーを飲むんですが、町営バスを利用する買い物帰りの方が待ち合いしてコーヒーを飲んだり、たまたま会った人とお話ししたりけっこう来ています。手芸を教えてくれたりしています。あの場所はとてもいいなと思いました。

(確井参事)

みなクルの開設に立ち会ったんですが、子どもからお年寄りまでが集まり、世代間交流や、町の中心市街地としての活用、また、地域公共交通の拠点としてやっていこうと、実は、コミュニティカフェは、その後からなんです。高齢者の認知症対策とかで、お年寄りの方にも外に出ただき、話し相手になってもらう。そこから関係者が支援してはという発想でやっています。そういった活動に行政が入り込むより、協力隊として民間の発想でやってもらおうという事ではじめました。今回の方は川崎市出身で小樽市で農業・果樹園に興味をお持ちで将来的にはそういうことをと考えて意欲を持って入られて、まずは町の人とコミュニティを持ちたいですとか、インターネットを使った情報発信だとか自分なりにできることをやっていきたいという抱負を言っていたいたんですが、まずは町民の皆さんとふれあいをもっていただくことを考えております。協力隊に係るお金は、国からの地方交付税の中でほぼ100%支援をさせていただいています。そういったものを利用しています。だからと言って、どこへでも出てなんでもかんでもってというのは難しいかと思います。ただ、いずれにしても3年間協力隊をやったあとは、でき得れば地域で自ら活躍をしていただけたらとの願があります。半分は、カフェの消耗品や仕入れ代などのお金が出ているということになっております。

(委員)

みなクルのことですが、いつもなら文化ホールを借りて仲間と着物の着付けなどを行っていますが、今年は文化ホールを借りられず、みなクルを借りたところ、「お葬式が入ったらダメですよ」といわれ、結局お葬式が入り、利用できませんでした。慌てて公民館を借りたのですが、お葬式が入ったとしても、調理室のスペースなど小さくてもいいので借りることが出来るようにしてはどうでしょうか。

(確井参事)

奈井江でお葬式をやるという事は、多いときには200人、300人が集まるので、それは、参列者にとっても良いことなので、そこはやむなしということと、ホールと和室とお寺さんが入る部屋と、食事も取られるので、そこを含めた料金設定をしています。お金を取る以上、我慢してくれという事にはいかないのご理解いただきたい。

(委員)

私も10人以内の会合を2回くらいカフェのところでやったんですが、ただ隣にほかの人もいますから、話し声も小さくなるもんですから、移動式の衝立があれば話は聞こえるが顔は、みえないの

で違うと思います。みなクルは利用してますが利用しやすいです。コーヒーを飲んだりもしていません。

(碓井参事)

みんなで支え合って上手に使いましょうということを実はうったえてるところですので、なんとか上手く調整できればと思います。

(委員)

子育て支援の中で、小児期からの生活習慣病予防とありますが、私の子どもも今年受けたんですが、初めは、痛い注射までしてどうかなと思いましたが、受けてみると、色々な事が解りましたので受けてよかったなと思っております。また、職場でも話したんですが、この近隣で行っているのは奈井江町だけなので、とても良いことだと思いました。これからも継続してやっていただきたいと思います。

あと、実施計画の5ページの橋の改修工事ですが、今、12号の角に住んでいますが、上の宮島橋が綺麗になりましたが、あそこを通るときに怖いと思うのが、橋が通っていますが、両サイドの柵に支えがなくてすごく怖いです。冬なんかに曲がるときに、突っ込んで行くんじゃないかと思う。もう少し、角に何かを置くなどして欲しいです。パイプでやってるだけなのですごく怖いです。車に乗る人は危ないと思います。

(委員)

今年、向ヶ丘で防災訓練をしまして、施設も参加しましたが、備蓄品は何日分保管しているのでしょうか？これから増やすのか、現状維持なのか？

(碓井参事)

基本的には、水や毛布、トイレなど色々揃えています。食料の面で行けば、東日本大震災の実例で、一晩クリアすれば、外部からの応援が来るという設定で、年次計画で計画的に整備しています。

(委員)

期限が切れたものはどうしているのでしょうか？

(碓井参事)

切れる前に今回のように訓練で試食してもらったり、町の施設で水を使ってもらったりとか無駄のないように行っています。

(馬場課長)

もう一つ、付け加えるなら、最近、コンビニやトラック協会との協定を結びつつ、食糧支援や物資の運搬支援を行っています。そういったサポートも結んでいるという事もご理解いただきたい。

(委員)

協定というのとはどのようなものでしょうか？大きな災害があると、コンビニでも物が無くなるが。

(馬場課長)

ある部分については、災害を優先させるだとか、そういったことも含まれます。

(委員)

一つよろしいでしょうか？地域包括支援センターで始めた認知症初期集中支援チーム委託ほかとなっていますが、けっこうなお金が掛かっていますが、具体的にどのような事をしているのでしょうか？

(碓井参事)

空知中部広域連合の事業の一環で、国などから交付金を受ける中で、それを市町村に交付金として出して、色々な事業をやっているようですけど、ちょっと、もう少し、きちんとしたものを作って次回までに示したいと思います。

(委員)

このあいだ、認知症フォローアップ研修とかを文化ホールでやっていたので。

(馬場課長)

まさにそうですね。認知症フォローアップ講座ですとか認知症サポーターの養成講座ですとか事業でやってるかと思います。

(委員)

活動として、奈井江町で町民のみなさんがどんな感じで動いているのか、講習は受けてるけど、自分たちのために受けているのかよくわからないので。

(委員長)

ほかにありますでしょうか。

ただ、われわれが言いつばなしではなく、行政側がしっかりととらえて予算に反映していただきたいと思います。

さきほど、みなさん、思ったかと思いますが、奈井江中学校・奈井江高校とか不妊治療の件ですとかライスターミナルの件ですとか、以外に奈井江町はほかの町にはない支援があるよということが改めてわかったんですが、役場の方はちょっとPRが下手なんじゃないかと思います。いいことはしっかりPRをがっちりしてほしいと思います。

(碓井参事)

加えてなんですが、予算編成の中でまとめて、この町民委員会の中での意見を踏まえて結果は別ですが、やり取りしていきたいと思います。また、公共施設の使用料について、利用者の皆さんに経費の1/2をご負担いただくという形でずっとやってきていて、3年に1回 町で、例えば、燃料費や電気料の乱高下して、極端に上がった場合は利用者のみなさんにご負担いただく経費の1/2を公共施設の使用料についても、今年も各データをまとめていまして、場合によっては見直しを検討する時期にも来ています。ただ、変えるにしても、周知期間を設けて、ある日突然値上がりとはなりません。歳入の面ではそういうことも併せて行っていることもご理解いただきたい。

(委員長)

それでは皆さん、本日はご苦勞様でした。